

陳 情	受 理 番 号	184	受 理 年 月 日	令和 7 年 2 月 25 日	付 託 委員会	都市建設 環境
件 名	市による那覇市内線路線バス運行継続に対する財政支援制度導入について					

みだしの件について、別紙のとおり陳情いたしますので、よろしくお願いいたします。

件 名 市による那覇市内線路線バス運行継続に対する財政支援制度導入について（陳情）

陳情の趣旨

・那覇バス株は長年にわたり市民の足として重要な役割を果たしてまいりました。しかしながら、新型コロナウイルス感染症の影響により、利用者数が大幅に減少し、コロナ禍を脱した現在においても、なお約 1 割の利用者が回復していない状況です。その結果、経営収支は悪化し、約 6 億円の累積欠損を抱えるに至っております。

このような累積欠損は、民間事業者の経営努力のみでは解決が困難な状況にあります。他県においては、都営バスや公営バスの形態をとることで、たとえ赤字が発生しても税収で補填する仕組みが整えられています。また、札幌市においては、民間の路線バス事業者が赤字の場合、市民の足の確保のために補填を行っております。

しかし、那覇市においては、特に那覇市内線については、これまで民間事業者が独自に経営を続けており、現在のような赤字経営が続くことは事業の継続を困難にしております。

那覇市民の移動手段を確保し、市民の生活を支えるためにも、那覇市による財政支援が不可欠であると考えます。つきましては、那覇市が那覇市内線に対し、運行維持のための補助を行うよう、強く要望いたします。

陳情の理由

・県内（特に那覇市内）は渋滞が酷い状況が続いており、それに伴うバスの運行遅延が利用者に大きな影響を及ぼしております。こうした問題は、通勤・通学者をはじめとする利用者の利便性を低下させ、バス利用離れの要因となっております。この課題に対処するため、那覇バス(株)が県内で最初にバスロケーションシステムを導入し、また、運賃については、利用者の利便性を考慮し、那覇市内においては、わかりやすい均一運賃を採用しております。しかしながら近年の新型コロナによる影響、物価高騰による経済状況のなかで、那覇市民の足を確保し事業継続するために運賃改定を行ってまいりましたが、経営を改善するに至っておらず、会社経営を継続することが極めて困難になっております。今後も経費削減による経営努力をしたとしても、経営悪化が想定されます。那覇市民の足を確保するためには、那覇市による財政支援がぜひとも必要不可欠であると考え要望することにいたしました。